

ACANTHUS NEWS



「アカンサス」(和名「ハアザミ」)は、南ヨーロッパ原産で葉を様式化した文様はギリシャ建築などで有名。金沢大学の校章も、このアカンサスの葉を図案化したもの。

平成14年 **2002.10**
月刊アカンサスニュース
金沢大学広報紙 第72号

TOP NEWS

「21世紀COEプログラム」 〈学際、複合、新領域〉分野採択

文部科学省が、主として研究面においてポテンシャルの高い専攻等が世界最高水準の研究教育拠点を形成するために必要とする経費を専攻等の研究者からなる研究グループに対して重点的支援を行う「21世紀COEプログラム」に、本学から

〈学際、複合、新領域〉分野の拠点プログラム「環日本海の環境計測と長期・短期変動予測」が採択され、10月2日午後、林勇二郎学長と拠点リーダーの早川和一自然科学研究科教授が関係者とともに記者会見で発表した。



会見に臨む林学長（前列右）と拠点リーダーの早川教授（同左）

対象10分野のうち今年度公募の5分野（予算額182億円）には、国公立の163大学から464件の応募があり、その中から50大学113件が採択された。

【詳細については11月号で紹介の予定】

大学院学位記授与式

9月30日午前、事務局大会議室で大学院自然科学研究科の学位記授与式が挙行され、前期課程修了者1名、後期課程修了者15名、論文審査合格者9名の計25名に学位記が授与された。

また、同日午後、医学部会議室で大学院医学系研究科の学位記授与式が挙行され、博士課程修了者27名、論文審査合格者7名の計34名に学位記が授与された。



学位記を授与する林学長



巻頭言

「角間の里山自然学校」によせて



文学部長
鹿野 勝彦
〔角間の里山自然学校〕
副代表

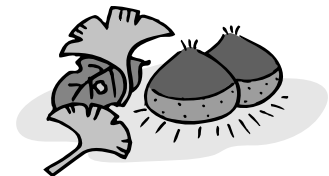
半月ばかりの出張から戻って、厳しい残暑のなかを角間キャンパスへ上ってくると、自然科学研究科の建物の骨組みがだいぶ立ち上がってきたのが目についた。文・法・経済学部や図書館などが最初に移転してきた1989年当時に比べると、角間も様変わりしたものだが、変わったのは旭町から若松、田上の周辺についても同様で、ここ数年に入学した学生諸君などには、あたりが水田や畑、果樹園ばかりだったそのころの様子は、想像がつきにくいだろう。

それでもこのキャンパスは、いまま豊かな自然に包まれている。移転してしばらくしたころ、キャンパスから500メートルほどのところに置かれていたミツバチの巣箱をクマが襲うという「事件」があった。残念ながら(?)その後近くにクマが出現したというニュースは聞かないが、私自身もカモシカやテンは、バス道路からたかだか数十メートル離れただけの林の中で、なんとか見かけている。雪の

積もった朝なら、いたるところにノウサギの足跡が印されているはずだ。

そしてそこは周辺に住む人々にとっては最近まで、谷間や緩傾斜地に水田や畑を拓き、薪炭や用材を手に入れ、山菜やタケノコ、キノコなどを採取する生活の場としての、いわゆる「里山」であった。自然といっても、それは人間の暮らしがかかわることで形成された大切な資源でもあったのだ。

この貴重な里山を大学としてどのように継承してゆくかという課題に取り組んできたのが中村浩二さん（自然計測応用研究センター教授）を代表とする角間の里山自然学校である。その活動はキャンパス周辺の里山の保全をはじめ、市民向けの公開プログラムや教養的科目の立ち上げなど、多岐におよんでいる。今後さらに多くの方々に関心を持っていただくとともに、なんらかのかたちでご参加いただければと願っている。



目次

〔21世紀COEプログラム〕	
〈学際、複合、新領域〉分野採択	1
大学院学位記授与式	1
巻頭言「角間の里山自然学校」によせて	2
北京師範大学創立100周年記念式典	3
平成14年度学生の修学・生活指導担当教官等研究会	3
国立大学薬学部事務長会議	4
生涯生活設計セミナー	4
平成14年度留学生担当者研修会	4
第5回金沢大学教養教育全学研究会	5
第1回北陸ポストゲノム研究フォーラム	5
薬剤師生涯教育リフレッシュフォーラム	5
本学の教育研究の成果を地域に還元し、地域の知の向上に貢献する「金沢大学地域貢献特別支援事業」の概要	6
日本地理学会2002年度秋季学術大会	8
第73回日本動物学会	8
日本機械学会 機械力学・計測制御部門講演会 －集まる・論ずる・食する・金沢－	8
工学部特別講演会「大学改革と今後の研究・教育」	9
外国語教育研究センターの講演会	9
サテライト・プラザでの研究会	9
学長 臨海実験施設を視察	10
イブニングセミナー	
「医療事故防止のために・パート1」	10
セクシュアル・ハラスメント相談員研修会	10
後期授業開始前に角間キャンパス美化	10
ミニ講演会「くらしの中の電磁波」	11
リカレント教育公開講座	
「機械工学から見た生体・生物の魅力」	11
「教官×OB×学生展」開く	11
自転車周回路ができたぞ!!	11
角間の里山自然学校から	12
日本対がん協会賞を受賞	12
消火技術競技大会	12
編集後記	12

ビッグニュース

北京師範大学創立100周年記念式典

9月7日、8日、中国北京市で本学の大学間交流協定校である北京師範大学の創立100周年記念式典及び国際学長フォーラムが開催され、本学から、金子 功栄副学長（教育学部教授）、大瀧幸子文学部教授及び上地進国際交流課専門職員が出席した。



平成14年度学生の修学・生活指導担当教官等研究会

9月26日、27日、辰口共同研修センターで「平成14年度学生の修学・生活指導担当教官等研究会」が開催され、全学学生支援専門委員会委員、各局学生生活相談教官、アドバイス教官、学生相談窓口担当者及び学生部職員の31名が参加した。



学生のメンタルヘルスについて講演する
磯田雄二郎静岡大学大学院人文科学研究科教授
=9月26日、辰口共同研修センター研修室

9月のニュース

国立大学薬学部事務長会議

9月26日、本学を当番大学として、平成14年度国立大学薬学部事務長会議が開催された。

同会議には全国から26名が出席し、各大学における「独法化後の事務組織の検討状況」について、活発な意見交換が行われた。



会議を進行する本学の辻弘之事務長（中央）
＝金沢市内のホテル

生涯生活設計セミナー

9月17日、金沢市内のホテルで、石川県内の文部科学省関係機関に所属する40歳以上の職員を対象とした生涯生活設計セミナーが開かれ、各機関から約90名の職員が参加した。

初めに、大島有史本学事務局長からあいさつがあり、続いてライフプラン学習支援



あいさつする大島事務局長

研究所代表の鈴木啓三氏による「生涯生活設計の必要性」ほか4題の講演が行われた。



「生きがい」について講演する
山中毅氏（元オリンピック選手）



講演する鈴木啓三氏

平成14年度留学生担当者研修会

石川地域留学生交流推進会議主催の「平成14年度留学生担当者研修会」が9月6日、金沢大学サテライト・プラザを会場に、石川県内の11機関から21名の受講生を集めて開催された。

同会議の事務局を担当する本学の中村直規学生部長のあいさつの後、「学習の海外留学について」、「地域交流について」及び「アドバイジングの方法」の講義が行われた。



あいさつする中村学生部長
＝金沢大学サテライト・プラザ（3階）

研究会等

第5回金沢大学教養教育全学研究会

9月12日、第5回金沢大学教養教育全学研究会が開催され、他大学の講師や本学の非常勤講師等を含め関係者126名が出席した。

テーマは、「教養教育の現在を考えるー金沢大学の教養教育カリキュラムをどのように刷新するかー」で、星宮望東北大学副総長の特別講演（「東北大学の全学教育改革の要点」）に続いて、関係教官から「教養教育のカリキュラム刷新案ー教養の科目から共通教育科目へー」等の報告があり、討論が行われた。



あいさつする金子勲榮副学長
=金沢市内のホテル

講演中の服部正平北里大学生命科学研究所教授
=医学部記念館

第1回北陸ポストゲノム
研究フォーラム

9月19日、医学部記念館で、がん研究所主催の第1回北陸ポストゲノム研究フォーラムが開かれ、研究者や学生ら約120名が出席し、ヒトゲノム（人間の全遺伝情報）の最先端技術に関する理解を深めた。

薬剤師生涯教育
リフレッシュフォーラム

薬学部は9月29日、「薬剤師生涯教育リフレッシュフォーラム」を医学部十全講堂で開催した。

「新しい薬物治療と医薬経済」というサブタイトルのもと、83名の出席者は招待講演3件のほか2件の学内者の講演に耳を傾けた。

講演する奥村勝彦神戸大学教授
=医学部十全講堂



地域貢献, 今

本学の教育研究の成果を地域に還元し、地域の知の向上に貢献する 「金沢大学地域貢献特別支援事業」の概要

10事業に計7千4百万円

文部科学省は、特に優れた国立大学の地域貢献の取組みを重点的に支援するため、平成14年度に「地域貢献特別支援事業費」を創設した。第一次分に応募した20大学のうち本学のほか岩手大、群馬大、鳥取大及び広島大の計5大学の地域連携プロジェクトが採択され、本学には7,420万円の事業費が配分された。

今回本学から申請した地域貢献プランは、中央教育審議会答申の「参考資料」で紹介され、また大学評価・学位授与機構の大学評価でも特色ある活動として高い評価を受けた「金沢大学サテライト・プラザ」や「角間の里山自然学校」など、石川県や金沢市と連携を図ってきた活動を中心に10件の事業で構成されている。

戦略性・独創性ある新規事業にも挑戦

このうち、「地域貢献コーディネーターの設置」、「金沢学への招待」及び「学生が起す街中文化創造拠点『香林坊ハーバー』支援」の事業は今回の新規事業であり、戦略性・独創性の面で全国の地域貢献活動のモデルとなりうる事業であるとの評価を受けたものである。これらの事業は、自治体・大学双方の協力のもとに実施されるものであり、地域・社会のニーズを重視し、大学の教育研究の活性化を図るとともに、教育研究の成果を地域に還元し地域に根差した大学を目指す事業として展開される。

地域貢献推進室長の中村信一副学長は、「数少ない採択校に選ばれたことを誇りとして、地域貢献活動で本学が全国のモデルとなっていきたい」と決意を新たにしている。

なお、地域貢献推進室は次の室員のほか、22名の部局アドバイザー及び数十名の個別事業実施担当者・協力者から構成されている。



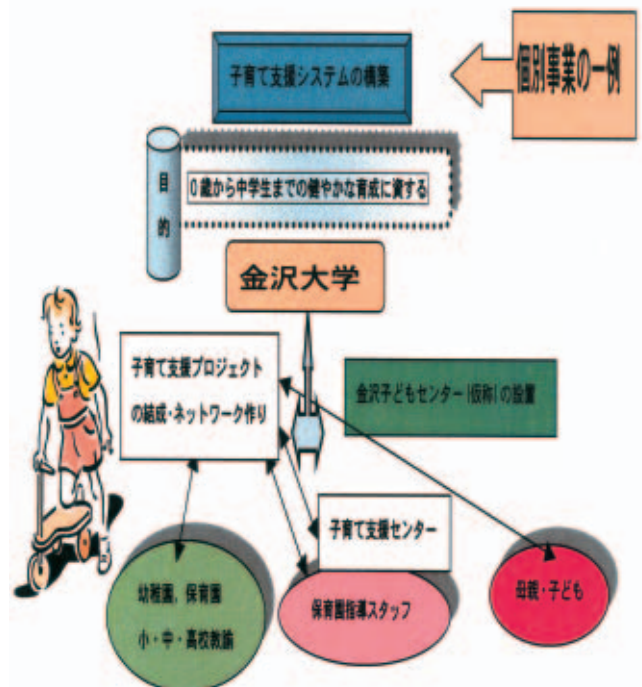
中村室長(副学長)

【地域貢献推進室員】

室長	中村 信一	副学長(研究・環境担当)
室主任	松坂 浩史	総務部総務課長(金沢大学・石川県・金沢市連絡協議会会長)
室員	中村 浩二	自然計測応用研究センター教授
〃	鈴木 漠	大学教育開放センター教授
〃	太田 義興	総務部企画広報室長
〃	粕山登志雄	経理部主計課長
〃	根川 博信	学生部学生課長
〃	上口 大介	総務部総務課専門員
〃	山本 秀樹	地域貢献推進室調査員

事業についての照会は、地域貢献推進室まで

電話264-5905 E-メール:chiiki@ad.kanazawa-u.ac.jp

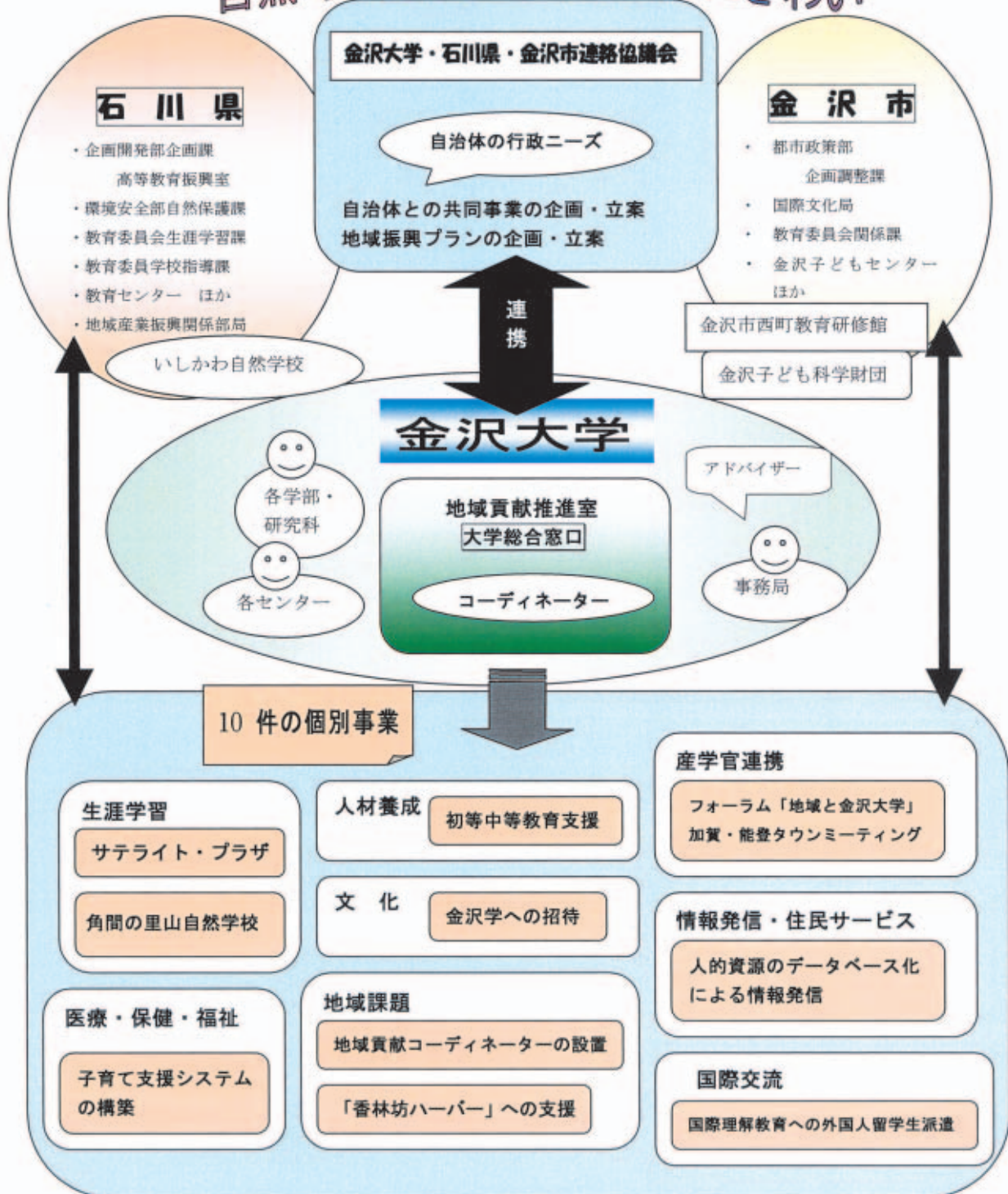




地域とともに！金沢大学

「金沢大学地域貢献特別支援事業」の概念図

いしかわ・かなざわ
自然・文化・人づくり・交流・にぎわい



学会等

本学を会場にひらかれた秋の学会等

日本地理学会 2002年度秋季学術大会

9月25日～28日，文学部・法学部・経済学部棟及び教育学部棟で，日本地理学会主催「21世紀の山村空間－その可能を求めて－」のシンポジウムが開催され，一般会員，学生等の約600名が参加した。



ポスター発表の展示
=9月26日，文学部・法学部・経済学部棟L204講義室



研究発表の風景
=9月24日，総合教育棟C1講義室

第73回日本動物学会

9月24日～27日，総合教育棟及び石川県文教会館を会場に，日本動物学会が開催され，約1,050名が参加した。

なお，動物学の発展に寄与した功績で，本学自然計測応用研究センター臨海実験施設の又多政博

技術専門職員に，同学会から「感謝状」が授与された。



又多技術専門職員

日本機械学会 機械力学・ 計測制御部門講演会 －集まる・論ずる・食する・金沢－

9月17日～20日，日本機械学会主催研究発表会「Dynamic & Design Conference 2002－集まる・論ずる・食する・金沢－」がひらかれ，フォーラム，特別講演会，シンポジウム及び講習会に約600名が参加した。



特別講演会「物理と対称性」
=9月17日，総合教育棟AI講義室

講演会等

工学部特別講演会 「大学改革と今後の研究・教育」

9月5日、工学部秀峯会館大会議室で、日本テキサスインスツルメンツ株式会社社長生駒俊明氏による特別講演が行われ、北陸信越地区の大学及び高専や本学工学部の職員等130名が出席した。



大学改革と法人化に質問が集中
＝工学部秀峯会館大会議室

外国語教育研究センターの講演会

外国語教育研究センターは、9月20日に「愛媛大学の英語教育改革 教養教育から共通教育へ」、同月30日には「静岡

大学の英語教育－現在・過去・未来－」と題した講演会をそれぞれ開催した。



講演する折本素愛媛大学助教授
＝総合教育棟会議室



講演する堀内裕晃静岡大学助教授
＝総合教育棟会議室

サテライト・プラザでの研究会

9月26日、公開講座「体育指導委員のためのステップアップセミナー」受講者を中心として、生涯スポーツ研究会（仮称）を立ち上げ、受講生等の8名が参加した。

この研究会は、生涯スポーツに関心を持つ人なら誰でも参加できる研究会で、毎月一回定例化することとした。



中学校運動部の実情の事例報告等を行う参加者
＝金沢大学サテライト・プラザ（2階）

トピックス

学長 臨海実験施設を視察



標本室を視察

9月4日、林学長、大島事務局長等が自然計測応用研究センター臨海実験施設を視察し、笹山雄一教授から、施設の現状等について説明を受けた。



実習調査船「あおさぎ」を視察

イブニングセミナー
「医療事故防止のために・パート1」

9月25日、医学部附属病院の医療安全管理部では事故防止の視点から人工呼吸器を理解するため、人工呼吸器について講義の後、作動している人工呼吸器の設定を実際に確認していただくことを企画し、イブニングセミナー「医療事故防止のために・パート1」を実施した。

人工呼吸器の設定を確認する看護師
＝医学部附属病院新病棟9階カンファレンスルームセクシュアル・ハラスメント
相談員研修会

9月30日、相談員研修会（角間キャンパス以外の地区）が開催され、16名の相談員が参加した。

あいさつする鹿野総括相談員（左から3人目）
＝医学部附属病院外来診療棟3階カンファレンスルーム

9月27日、角間キャンパスG駐車場付近

後期授業開始前に
角間キャンパス美化

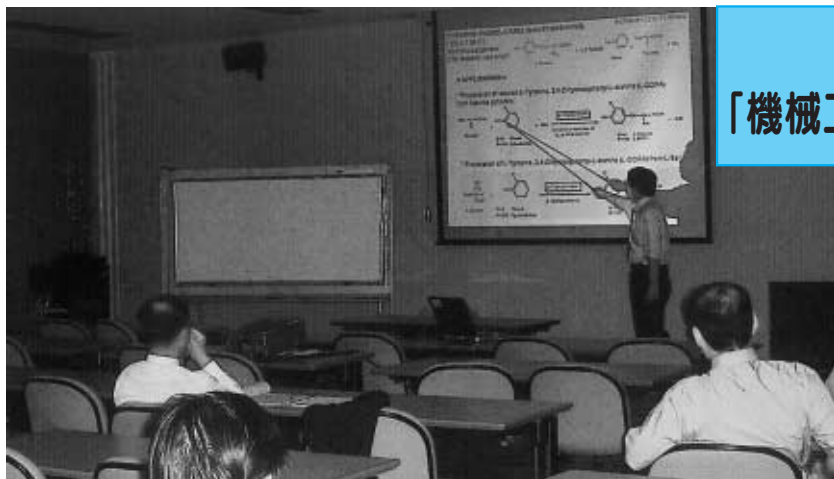
平成14年度キャンパス美化作業（後期）が、9月17日から9月27日にわたり行われた。職員は、夏に成長した雑草の刈り込みに加え、キャンパス内のゴミの回収を行い、10月から始まる後期授業にそなえた。

サテライト・プラザ, 公開講座等

ミニ講演会 「くらしの中の電磁波」

9月21日, ミニ講演会が開催され, 長野勇工学部教授(総合情報処理センター長)が「くらしの中の電磁波」と題して, 講演し, 約30名が聴講した。

講演する長野教授
=金沢大学サテライト・プラザ



リカレント教育公開講座 「機械工学から見た生体・生物の魅力」

9月12日~13日の両日, 大学教育開放センター主催によるリカレント教育公開講座が開催された。

公開講座の様子
=9月12日, 工学部秀峯会館中会議室

「教官×OB×学生展」開く

9月23日から29日まで, 教育学部美術教室による第1回「教官×OB×学生展」が開催された。



展示風景
=9月23日, 金沢市民芸術村のマルチ工房

自転車周回路ができたぞ!!

8月30日, 養護学校体育館を回る自転車道コースが完成した。10年以上も前からあった「学校に自転車道があったらいいね」という夢が実現した。



ハンドルを巧みに操作し, 気持ち良い風を切る児童たち

角間の里山自然学校から

9月28日、15名の参加者が集まり「秋の植物観察会」を開催した。この日はあいにくの雨でながら、傘をさして2時間ほど里山を歩き、秋の花や木の実を観察した。



雨の中、秋の植物観察する参加者

日本対がん協会賞を受賞

9月13日、山形市で開かれた「がん制圧全国大会」で磨伊正義がん研究所教授が表彰された。これはがんの治療法の開発や患者らのケアに力を尽した人たちを対象に、日本対がん協会が贈る協会賞の個人賞で、同教授の、X線の読影方式が評価されたもの。



磨伊教授

消火技術競技大会

9月5日、金沢市消防火災協議会主催の平成14年消火技術競技大会が、まめた簡易グラウンドで、消火器の部、屋内消火栓の部、可搬動力ポンプの部の3部門に別れて行われ、医学部附属病院から、屋内消火栓の部に指揮者以下3名のチーム編成で、看護部チーム、事務部チームの2チームが参加し、敢闘賞を受賞した。



放水する職員
=まめた簡易グラウンド

編 集 後 記

市内でタクシーを拾い、サテライト・プラザへ行った。つい、分かりやすいように「元金沢市中央公民館西町館まで」と行き先を伝えていた。

タクシーチケットを見た運転手に「今は、金大の施設になったんですか」と尋ねられた。「本当は、どこでタクシーに乗っても『金大サテライト・プラザまで』で通じるのが理想なんですけど・・・」。

話せば、彼は気象予報士の資格を持っていて、ここ数年専門的に学びたいと思い続けながらも、方法を探しあぐねていたという。「子どもも独立した。その道で食えなくても、純粋に勉強したいと思っている人は案外たくさんいるんですよ」。

勉強は楽しかったんだと思い出した。聴講生について知りたいという彼に、照会先を教え、サテライトでの資料収集も勧めた。彼がサテライトを訪れてくれる日を待っている。
(総務部企画広報室企画係 中嶋 敦子)

平成14年10月18日発行
(原則として毎月1回第3週に発行)

〒920-1192 金沢市角間町
編集 金沢大学総務部企画広報室

TEL 076-264-5024
FAX 076-234-4015

◆本紙の内容、その他の本学に関する諸情報については、「金沢大学ホームページ」(愛称“KUPIS” (キューピーズ)) (アドレス=<http://www.kanazawa-u.ac.jp>) でもご覧いただけます。
◆本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール (E-mail) = general1@kenroku.kanazawa-u.ac.jp でも受け付けています。